

<報道発表資料>

令和7年11月12日

京都市総合企画局国際都市共創推進室国際担当

第20回世界歴史都市会議の開催内容決定・ 理事会出席都市の京都市視察結果

京都市は、世界歴史都市連盟の会長都市及び事務局を務めており、11月4日・5日に姫路市で開催された「2025年度世界歴史都市連盟理事会」へ出席しました。理事会では、2026年に姫路市にて開催される「第20回世界歴史都市会議」について協議し、会議日程やテーマ等が決定しました。

11月6日には、京都市内において視察を実施し、京都市が、連盟加盟都市である奈良市とともに第20回会議のエクスカーション先として決定されました。



2025年度世界歴史都市連盟理事会の様子（姫路市にて開催）

【2025年度世界歴史都市連盟理事会の開催結果】

- 日 程 令和7年11月4日(火曜日)・5日(水曜日)
- 会 場 アクリエひめじ（姫路市文化コンベンションセンター）
（〒670-0836 兵庫県姫路市神屋町143-2）
- 参加都市 理事都市：8都市中7都市
 - ・ 会 長 京都市
 - ・ 副会長 コンヤ市（トルコ）、西安市（中国）、
 - ・ 理 事 クラクフ市（ポーランド）、慶州市（韓国）、
バート・イシュル市（オーストリア）、
リュブリャナ市（スロベニア）

発表都市：姫路市

※ シーラーズ市（イラン）は、委任状を提出し欠席

※ 第20回会議開催都市である姫路市は、会議内容の発表のため、審議及び報告事項終了後から参加

- 結 果 新規加盟都市（ナタンズ市（イラン）・ハマダーン市（イラン））の承認
第20回会議の日程・テーマ等の決定
- そ の 他 第20回会議の開催会場や姫路市内エクスカーショ候補地を視察
 - ・ アクリエひめじ、姫路城、妻鹿（めが）漁港、
書寫山圓教寺（しょしゃざんえんきょうじ）

【令和8年開催 第20回世界歴史都市会議の決定内容】

- 日 程 令和8年11月10日(火曜日)～12日(木曜日)
- 会 場 アクリエひめじ
- テ ー マ 「持続可能で強靱な未来に向けた文化遺産の保存と活用」
- サブテーマ 文化遺産保存のための持続可能な未来の共創（ラウンドテーブル）
文化遺産の保存と活用の好循環の構築（市長セッション）
- プログラム ラウンドテーブル
市長セッション
専門家会議
ユース・プログラム
 - ・ 絵画展示「わたしのまちの宝物」（小学生対象）
 - ・ 英語スピーチコンテスト「世界に伝えたいわたしのまち」（中・高校生対象）市内エクスカーション
 - ・ 姫路城、好古園（庭園）、ユニークベニユーの視察
- そ の 他 選択制エクスカーション
 - ・ 会議プログラム終了後、姫路市、京都市、奈良市の3都市にて実施予定

【理事都市による京都市への視察結果】

世界歴史都市会議では、プログラムの一環としてエクスカーションを実施しています。理事会後に実施された理事都市による京都市、奈良市への視察を踏まえ、令和8年開催の第20回会議においては、姫路市、京都市及び奈良市の3都市から参加者がエクスカーション先を選択することが決定しました。

- 日 程 令和7年11月6日(木曜日)
- 内 容 訪問場所
 - ・ 元離宮二条城
文化財の保存と活用をテーマに、ユニークベニユーとしての活用や魅力向上の取組について、レクチャーや視察を実施。
 - ・ 京都市役所本庁舎
国登録有形文化財（令和7年3月13日登録）であるとともに、屋上庭園やオープンスペースなどを備えた、市民に開かれた市庁舎を案内。

正庁の間においては、京都市交響楽団が弦楽四重奏の演奏を披露し、和室では、京都外国語大学茶道部による茶会を開催。

- ・ 仁和寺

夜観光の一例として、一般拝観後の境内で能を鑑賞。また、ユニークベニユーの活用例として、京都市長による招宴を実施。



元離宮二条城でのレクチャーの様子



正庁の間での京都市交響楽団による演奏



和室での茶会の様子



仁和寺での能鑑賞の様子

<世界歴史都市連盟について>

世界の歴史都市が直面している「保存と開発」、「継承と再生」などの課題解決を目的とし、歴史都市のさらなる発展のため、平成6年4月に設立された世界的な自治体組織。設立以来、京都市が事務局及び会長都市を務め、日常的な情報交換に加えて、原則2年に一度世界歴史都市会議を開催。令和7年11月時点で、世界の65箇国・地域から137都市が加盟。



世界歴史都市連盟ロゴ

<世界歴史都市連盟公式ウェブサイト>

<https://www.lhc-s.org/> (英語)

<お問合せ先>

京都市総合企画局国際都市共創推進室国際担当

電話：075-222-3072